

# 岡山桃太郎空港のあらまし

令和7年度



空からみた岡山桃太郎空港



令和3年11月 撮影

---

## 目 次

---

1. 沿 革	1
2. 概 要	2
3. 運用時間	2
4. 主な経過	3
5. 空港関係官公署及び民間事業所	5
6. 主な施設	6
7. 利用の推移	11
(1) 定期路線	11
(2) 使用形態別着陸回数	11
(3) 利用者数及び搭乗率	12
(4) 貨物・郵便物取扱状況	21
(5) 定期路線別貨物取扱状況	22
(6) チャーター便運航状況	23

### ※参考資料

・ターミナル地区平面図	25
・旅客ターミナルビル案内図	25
・定期便運航図	26
・各社の代表的な運航機種	26

## 1. 沿革

---

岡山空港は、昭和37年10月13日、岡山県が管理する第3種空港（滑走路延長1,200m）として岡山市浦安地区に開港し、当初からの路線である東京便（1日2往復）に続き、昭和53年10月には、鹿児島便（1日1往復）が開設されました。しかし、増大する旅客及び貨物への対応、さらには全国主要都市への到達時間の短縮による利便性の向上といった課題が山積する中で、ジェット機の就航が可能な、地域経済の発展に重要な役割を果たす航空交通の拠点としての空港整備が求められてきました。

県では、昭和49年、空港問題研究会を設置し、「航空技術革新に対応した岡山空港のあり方」について検討を重ね、新空港の立地適性調査に基づき、昭和53年、岡山市日応寺地区を最適地に決定しました。

昭和56年3月、新空港の整備は国の第4次空港整備5カ年計画に組み入れられ、同年12月、建設に着手し、昭和63年3月、2,000mの滑走路を備える第3種空港として開港しました。

それまでの岡山空港（現岡南飛行場）は、小型機専用の飛行場として引き続き利用することになりました。

その後の施設整備にあっても、平成5年3月には滑走路を2,500mに、さらに平成13年10月には3,000mに延長するなど、国際化の一層の進展や増加する航空需要に対応してきました。なお、平成28年10月から、空港の運用時間を7時から22時までの15時間に拡大し、利便性を向上しました。

駐車場については、平成23年7月に一部を有料化しましたが、収容台数2,885台の無料駐車場は、全国でも最大の規模を誇っています。

施設の拡張等に併せて、定期便の運航も着実な伸びを見せており、開港当初の東京便（1日2往復）、鹿児島便（1日1往復）、沖縄便（1日1往復）の国内だけの路線が、その後、平成2年の札幌便、平成3年のソウル便、平成6年の仙台便、平成8年の小松便、平成9年の宮崎便、平成10年の上海便・グアム便、平成19年の北京・大連便、平成20年の香港便、平成25年の台北便と、国内外に路線を伸ばしてきました。

令和7年5月1日現在、国内定期便（東京便、沖縄便、札幌便）と国際定期便（ソウル便、上海便、台北便）の合計6路線と、高雄との連続チャーター便が運航されています。

さらに、開港当初からの国際線・国内線を合わせた利用者数（チャーター便利用者を含む）は、平成13年に年間100万人を突破し、令和7年4月3日には、開港以来の利用者数が4,000万人に達しました。

岡山空港は、平成30年3月に開港30周年を迎えたのを機に、一層県民に愛され、より多くの方から親しみを持って利用いただける空港を目指して、愛称を「岡山桃太郎空港」に決定しました。県ではこれからも、運航面・安全面における空港機能を充実することで、既存路線の拡充や新規路線の開設等に対応することとしています。

## 2. 概要

- (1) 名称 岡山空港  
愛称 岡山桃太郎空港
- (2) 設置管理者 岡山県
- (3) 空港の位置 岡山市北区日応寺1277
- (4) 標点の位置 北緯 34度45分25秒  
東経 133度51分19秒
- (5) 標高 239.2m
- (6) 飛行場の種類 陸上飛行場 地方管理空港
- (7) 敷地面積 187.2ha  
(第1期：135ha 第2期：26.5ha 第3期：25.7ha)
- (8) 補助対象事業費 412億円  
(第1期：296億円 第2期：81億円 第3期：35億円)
- (9) 工期 第1期：昭和56年度～昭和62年度  
(昭和63年3月11日開港)  
第2期：平成元年度～平成4年度  
(平成5年3月25日供用開始)  
第3期：平成10年度～平成13年度  
(平成13年10月4日供用開始)

## 3. 運用時間

7：00～22：00（15時間）（平成28年10月30日から実施）

昭和63年3月11日～昭和63年7月19日	8：30～18：30（10時間）
昭和63年7月20日～平成5年7月16日	8：30～20：00（11時間30分）
平成5年7月17日～平成16年6月30日	7：30～20：30（13時間）
平成16年7月1日～平成18年3月31日	7：30～21：30（14時間）
平成18年4月1日～平成28年10月29日	7：00～21：30（14時間30分）

### 岡山桃太郎空港アラカルト

- 岡山市の北部（岡山市中心部から約18km、倉敷市中心部から約22km、津山市中心部から約53km）に位置し、地形は標高200m～300mの比較的起伏の少ない丘陵台地にあります。
- 標点標高は239.2mで、日本では松本空港（657.5m）、福島空港（372.0m）、広島空港（331.0m）、鹿児島空港（271.9m）について5番目に高い標高となっています。
- 岡山空港新設工事（第1期滑走路2,000m）では、切土部が最高標高275m、盛土部が最低標高165mと、高低差が110m以上あった地形を約35m切土し、滑走路のセンターでは60mの盛土を施工しました。また、動かした総土工量は、1,250万立方メートルと膨大な土木工事でした。
- 第2期（滑走路2,500m化工事）では、飛行機が発着する滑走路の西側への延長を行うため、多くの工事が夜間に行われました。地形は比較的平坦で、最高盛土約23m、総土工量185万立方メートルとなりました。
- 第3期（滑走路3,000m化工事）では、滑走路東側への延長を行い、最高盛土約30m、総土工量140万立方メートルとなりました。この結果、新設工事と滑走路2,500m化工事、3,000m化工事を合わせた総土工量は、1,575万立方メートルとなり、東京ドーム約11個分に当たる量となっています。

## 4. 主な経過

年月日	内容
昭和49年 5月	空港問題研究会（岡山空港のあり方について検討）
昭和53年11月	空港立地適性調査により、岡山市日応寺地区を最適地に選定
昭和56年11月21日	新岡山空港設置許可
昭和56年12月15日	第3種空港指定
昭和58年10月	土木工事着工
昭和63年 3月11日	<b>新岡山空港開港</b> 滑走路2,000m 運用時間8：30～18：30（10時間） 東京便 … 1日2往復 全日空（B-737型機） 鹿児島便… 1日1往復 東亜国内航空（YS-11型機） 那覇便 … 1日1往復 南西航空（B-737型機）
昭和63年 7月20日	運用時間延長（8：30～20：00 11時間30分）
昭和63年 7月23日	東京便 1日3往復に増便（全日空）
昭和63年12月23日	「新岡山空港」を「岡山空港」に名称変更
平成元年11月30日	飛行場施設変更許可（滑走路2,500m化）
平成 2年 7月21日	東京便 1日4往復に増便（全日空）
平成 2年12月27日	札幌便 週3往復開設（全日空）
平成 3年 6月 3日	ソウル便 週4往復開設（大韓航空）
平成 3年 8月22日	ジェット機用エプロン拡張部分、小型機用エプロン供用開始
平成 4年 7月 1日	札幌便 週4往復に増便
平成 5年 3月25日	<b>滑走路2,500m供用開始</b> 国際線旅客ターミナルビル供用開始
平成 5年 7月17日	運用時間延長（7：30～20：30 13時間）
平成 6年 4月25日	仙台便 週4往復開設（日本エアシステム）
平成 6年10月 1日	鹿児島便 1日2往復に増便（日本エアコンピューター）
平成 7年 1月 9日	那覇便ナイトステイ開始（日本トランスオーシャン）
平成 7年 1月18日	阪神・淡路大震災に伴う臨時便運航（～4月14日）
平成 8年 7月19日	鹿児島便 1日3往復に増便（日本エアコンピューター）
平成 8年 9月 1日	小松便 1日2往復開設（日本エアコンピューター）
平成 8年10月 1日	FAZ（輸入促進地域）指定（～平成18年5月29日 FAZ法廃止）
平成 9年 4月 1日	札幌便 1日1往復に増便（全日空）
平成 9年 6月29日	ソウル便 週5往復に増便、ナイトステイ開始（大韓航空）
平成 9年12月 1日	宮崎便 1日1往復開設（日本エアコンピューター）
〃	小松便 1日1往復に減便（日本エアコンピューター）
平成10年 6月 1日	小松便 運休（日本エアコンピューター）
〃	鹿児島便 1日2往復に減便（日本エアコンピューター）
平成10年 6月30日	上海便 週2往復開設（中国東方航空）
平成10年 7月 3日	グアム便 週2往復開設（コンチネンタル・ミクロネシア航空）
平成10年 7月21日	飛行場施設変更許可（滑走路3000m化）
平成10年10月 1日	岡山空港航空貨物ターミナル開業
平成12年10月 1日	東京便 1日5往復に増便、ナイトステイ開始（全日空）
平成13年10月 4日	<b>滑走路3,000m供用開始</b>
平成14年 3月21日	ジェット機用エプロン（7番スポット）供用開始
平成14年 4月21日	上海便 週3往復に増便（中国東方航空）
平成14年 7月 1日	仙台便 運休（日本エアシステム）
〃	東京便 1日3往復開設、ナイトステイ開始（日本航空）
〃	東京便 1日6往復に増便（全日空）
平成14年10月 1日	東京便 1日4往復に増便（日本航空）
〃	仙台便 隔日運行で再開（日本エアシステム）
平成15年 3月30日	上海便 週4往復に増便（中国東方航空）
平成15年 4月 1日	仙台便 週4往復に増便（日本エアシステム）
平成15年10月26日	ソウル便 週3往復に減便（大韓航空）
平成16年 3月28日	上海便 1日1往復に増便（中国東方航空）
平成16年 7月 1日	運用時間延長（7：30～21：30 14時間）
平成16年10月31日	ソウル便 1日1往復に増便（大韓航空）
平成17年 2月16日	宮崎便 運休（日本エアシステム）
平成17年 3月10日	東京便 1日5往復に減便（全日空）
平成17年 4月 1日	仙台便 運休（日本航空）
平成17年 6月 1日	国内線ターミナル増築供用開始
平成17年 9月 1日	仙台便 週4往復の季節運航（～11月30日）（日本航空）
平成18年 4月 1日	運用時間延長（7：00～21：30 14時間30分）
平成19年 4月	那覇便季節増便（毎年4月、5月）
平成19年 7月28日	北京・大連便 週2往復開設（中国東方航空）
平成20年 4月26日	香港便 週3往復開設（香港エクスプレス）
平成20年 5月 1日	北京・大連便 週3往復に増便（中国東方航空）

年 月 日	内 容
平成20年 8月30日	香港便 運休 (香港エクスプレス)
平成21年 6月 1日	札幌便 1日1往復の季節運航化 (全日空)
平成22年 3月15日	旅客搭乗橋 (PBB) 増設 (計4カ所)
平成22年10月 1日	対等合併により社名がコンチネンタル航空からユナイテッド航空に変更
平成22年10月21日	ジェット機用エプロン (8番スポット) 供用開始
平成22年10月31日	鹿児島便 運休 (日本エアコミューター)
平成23年 3月27日	那覇便ナイトステイ開始 (日本トランスオーシャン航空)
〃	上海便ナイトステイ開始 (中国東方航空)
平成23年 7月 1日	第1駐車場有料化
平成23年 9月15日	電気自動車急速充電器を設置 (休止中)
平成23年10月30日	東京便 1日5往復に増便 (日本航空)
〃	北京・大連便 運休 (中国東方航空)
平成23年11月 1日	ボーイング787 世界初定期便就航 (全日空)
平成24年 3月25日	上海便 週9往復に増便 (中国東方航空)
平成24年 9月14日	ソウル便 週9往復に増便 (大韓航空)
平成24年 9月25日	上海便 週10往復に増便 (中国東方航空)
平成24年10月28日	上海便 週9往復に減便 (中国東方航空)
平成24年12月28日	ソウル便 週7往復に減便 (大韓航空)
平成25年 3月31日	札幌便 1日1往復の通年運航化 (AIRDO)
平成25年 4月 3日	台北便 週2往復開設 (エバー航空)
平成25年 4月 5日	ソウル便 週9往復に増便 (大韓航空)
平成25年 7月 5日	ソウル便 週7往復に減便 (大韓航空)
平成25年10月27日	ソウル便 週4往復に減便 (大韓航空)
〃	上海便 週7往復に減便 (中国東方航空)
平成26年 2月 8日	ソウル便 週7往復に増便 (大韓航空)
平成26年 3月30日	東京便 1日6往復に増便 (日本航空)
平成26年10月26日	東京便 1日6往復に増便 (全日空)
〃	台北便 運休 (エバー航空)
平成27年 2月21日	グアム便 運休 (ユナイテッド航空)
平成27年 4月16日	台北便週2往復の季節運航 (~6月28日) (エバー航空)
平成27年10月25日	東京便 1日5往復に減便 (全日空)
〃	東京便 1日5往復に減便 (日本航空)
平成28年 3月27日	ソウル便 週6往復に減便 (大韓航空)
平成28年 3月28日	香港便 1日1往復開設 (香港航空)
平成28年 6月30日	岡山空港利用者3,000万人達成
平成28年 7月14日	台北便 週3往復開設 (タイガーエア台湾)
平成28年 7月16日	香港便 週2往復に減便 (香港航空)
平成28年 7月31日	ソウル便 週5往復に減便 (大韓航空)
平成28年 9月 1日	消防防災航空センター 岡南飛行場から移設
平成28年10月30日	ソウル便 週7往復に増便 (大韓航空)
〃	運用時間延長 (7:00~22:00 15時間)
平成29年 6月16日	台北便 週4往復に増便 (タイガーエア台湾)
平成29年10月31日	台北便 週5往復に増便 (タイガーエア台湾)
平成29年12月20日	台北便 週6往復に増便 (タイガーエア台湾)
平成30年 3月10日	岡山空港の愛称を「岡山桃太郎空港」に決定
〃	送迎デッキ 無料化
平成30年 3月25日	札幌便 運航会社の変更 (AIRDO→全日空)
〃	台北便 週7往復に増便 (タイガーエア台湾)
平成30年11月28日	香港便 週3往復に増便 (香港航空)
令和元年 9月 5日	岡山桃太郎空港利用者3,500万人達成
令和 2年 2月~	新型コロナウイルス感染症の影響により、国内線・国際線に運休・減便が相次ぐ (5月7日~5月31日 全便運休)
令和 2年 3月29日	香港線 週2往復に減便 (香港航空) 全便運休継続
令和 3年 5月20日	ジェット機用エプロン拡張部分 (1番スポット) 供用開始
令和 5年 3月26日	台北便 週4往復で運航再開 (タイガーエア台湾) (運休・令和2年3月18日~)
令和 5年 5月27日	台北便 週7往復に増便 (タイガーエア台湾)
令和 5年 8月 4日	上海線 週2往復で運航再開 (中国東方航空) (運休・令和2年2月10日~)
令和 5年10月29日	上海線 週3往復に増便 (中国東方航空)
〃	ソウル線 週3往復で運航再開 (大韓航空) (運休・令和2年3月6日~)
令和 6年 5月 9日	上海線週5往復に増便 (中国東方航空)
令和 6年 8月 3日	ソウル線週5往復に増便 (大韓航空)
令和 6年10月27日	ソウル線週4往復に減便 (大韓航空)
〃	台北便週9往復に増便 (タイガーエア台湾)
〃	高雄便 (連続チャーター便) 週3往復開設 (タイガーエア台湾)
令和 7年 3月30日	上海線週3往復に減便 (中国東方航空)
令和 7年 4月 3日	岡山桃太郎空港利用者4,000万人達成

## 5. 空港関係官公署及び民間事業所

### (1) 官公署 <10機関>

- ・法務省広島出入国在留管理局岡山出張所
- ・財務省神戸税関岡山空港税関支署
- ・厚生労働省広島検疫所岡山空港出張所
- ・農林水産省神戸植物防疫所広島支所水島出張所
- ・農林水産省動物検疫所神戸支所岡山空港出張所
- ・国土交通省大阪航空局岡山空港出張所
- ・気象庁関西航空地方気象台岡山航空気象観測所
- ・岡山県警察岡山西警察署岡山空港警備派出所
- ・岡山県岡山空港管理事務所
- ・岡山県消防保安課消防防災航空センター

### (2) 民間事業所等 <37社>

#### ①航空会社等 <10社>

- ・全日本空輸株式会社 (ANA)
- ・日本航空株式会社 (JAL)
- ・中国東方航空公司 (CES)
- ・丸紅エアスペース株式会社
- ・ANAラインメンテナンステクニクス株式会社
- ・株式会社ジャブコン
- ・株式会社大韓航空 (KAL)
- ・日本トランスオーシャン航空株式会社 (JTA)
- ・タイガーエア台湾 (TTW)
- ・株式会社JALエンジニアリング

#### ②空港関連事業所 <27社>

- ・岡山空港ターミナル株式会社
- ・岡山県貨物運送株式会社
- ・両備ホールディングス株式会社
- ・株式会社セノン
- ・株式会社中国銀行
- ・株式会社天満屋
- ・ANAFESTA株式会社
- ・手打ちうどん桃太郎
- ・有限会社サンクロップ
- ・株式会社サンマルクカフェ
- ・株式会社イオン銀行
- ・福山通運株式会社
- ・山陽電気保全株式会社
- ・山佐株式会社
- ・出光興産株式会社
- ・佐川急便株式会社
- ・株式会社トヨタレンタリース岡山
- ・タイムズモビリティネットワークス株式会社
- ・株式会社日産カーレンタルソリューション
- ・ニッポンレンタカーサービス株式会社
- ・オリックス自動車株式会社
- ・平成レンタカー株式会社
- ・株式会社ワイエスフード
- ・株式会社サンネクト
- ・トラベックスジャパン株式会社
- ・株式会社東急コミュニティー
- ・株式会社ファミリーマート

## 6. 主な施設

### (1) 基本施設

- ①着陸帯 長さ3,120m 幅300m (着陸帯等級A級)
- ②滑走路 長さ3,000m 幅45m  
真方位 59度13分45秒
- ③誘導路 長さ3,621m 幅23~30m
- ④エプロン 83,883㎡
  - ・大、中、小型ジェット機用エプロン (コンクリート舗装)  
75,810㎡ (399.0m×190.0m)  
7バース (大型3バース、中型1バース、小型3バース)
  - ・小型機用エプロン 8,073㎡ 6バース
- ⑤GSE車両置場 6,300㎡
  - \*GSEとは、航空機へ旅客、貨物等を搭乗・搭載する際の地上支援機材の総称。

### (2) 航空管制施設 (航空局管理)

- 鉄筋コンクリート2階一部管制塔6階建 1,321.13㎡
  - ・管制施設
  - ・航空保安無線施設

### (3) 航空気象観測施設 (気象庁管理、航空管制施設内に所在)

- ・地上気象観測機器
- ・通信機器

### (4) ターミナルビル施設

- ①所有者 岡山空港ターミナル株式会社
- ②旅客ターミナルビル (エスカレーター棟含む)
  - 鉄筋コンクリート3階建 15,935㎡
  - 国内線エリア 8,774㎡
  - 国際線エリア 7,161㎡
  - ボーディングブリッジ 4基
- ③貨物ターミナルビル
  - 鉄骨平屋建 (軒先含まず) 3,410㎡
- ④給油施設 ジェット燃料 3基 自動車燃料 各1基 (ガソリン・軽油)

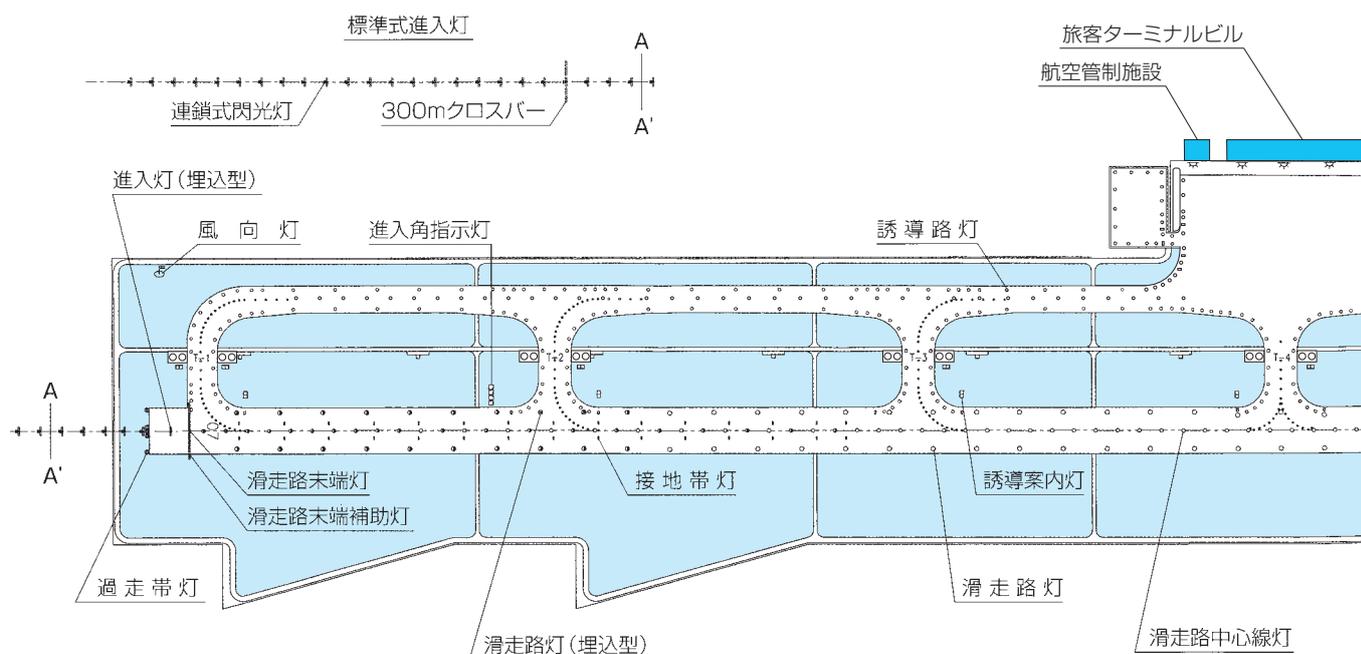
(5) 航空保安施設 (令和7年5月1日現在)

航空灯火施設 (県管理)	航空保安無線施設 (航空局管理)
飛行場灯台、進入灯、進入角指示灯、旋回灯、 滑走路灯、滑走路末端灯、滑走路末端補助灯、 滑走路中心線灯、接地帯灯、過走帯灯、誘導路灯、 誘導路中心線灯、誘導案内灯、風向灯、 航空障害灯、連鎖式閃光灯、エプロン照明灯、 滑走路警戒灯	超短波全方向式無線標識施設 (VOR/DME) 計器着陸装置 (ILS) 航空機監視システム (WAM)

※航空保安施設：航空機の航行を電波、灯光、色彩により援助する施設

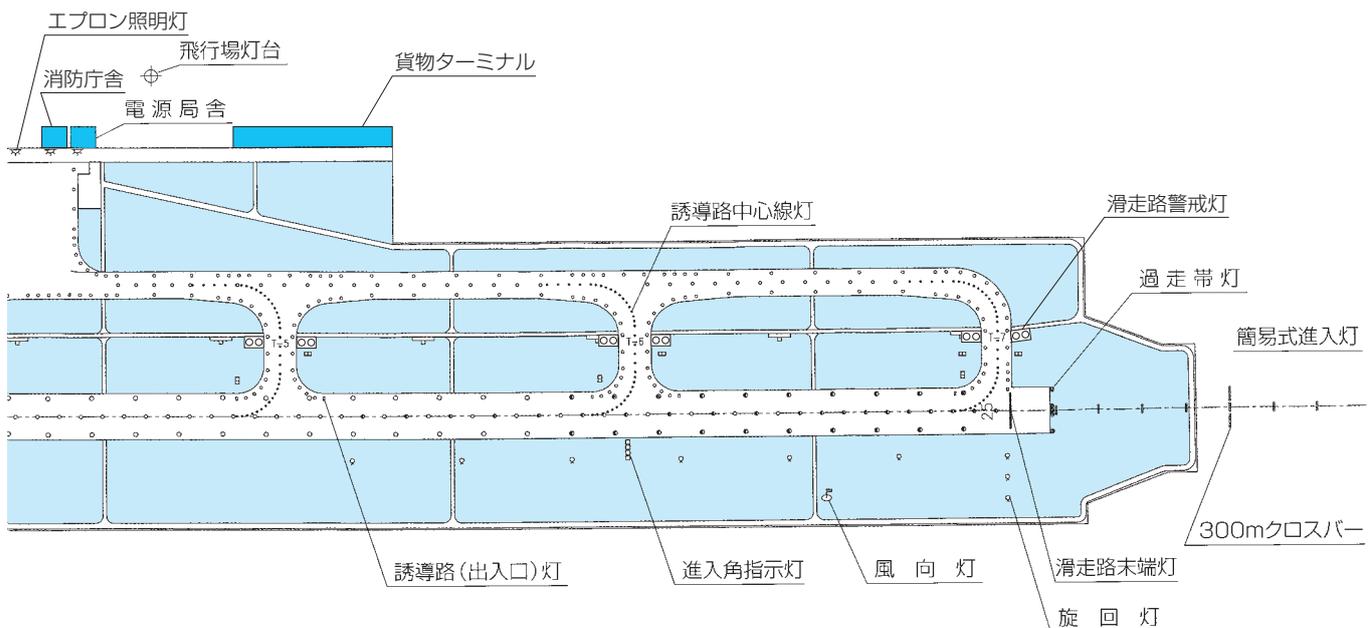
(6) 消火救難施設

- 消防庁舎 鉄筋コンクリート平屋建 259㎡
- 消防車庫 鉄筋平屋建 308.2㎡
- 車 両 大型化学消防車 3台  
 中型消防ポンプ自動車 1台  
 救難車 1台  
 救急医療用資器材搬送車 1台
- 消防水利 消火栓 (75mm) 1か所  
 防火水槽 12か所



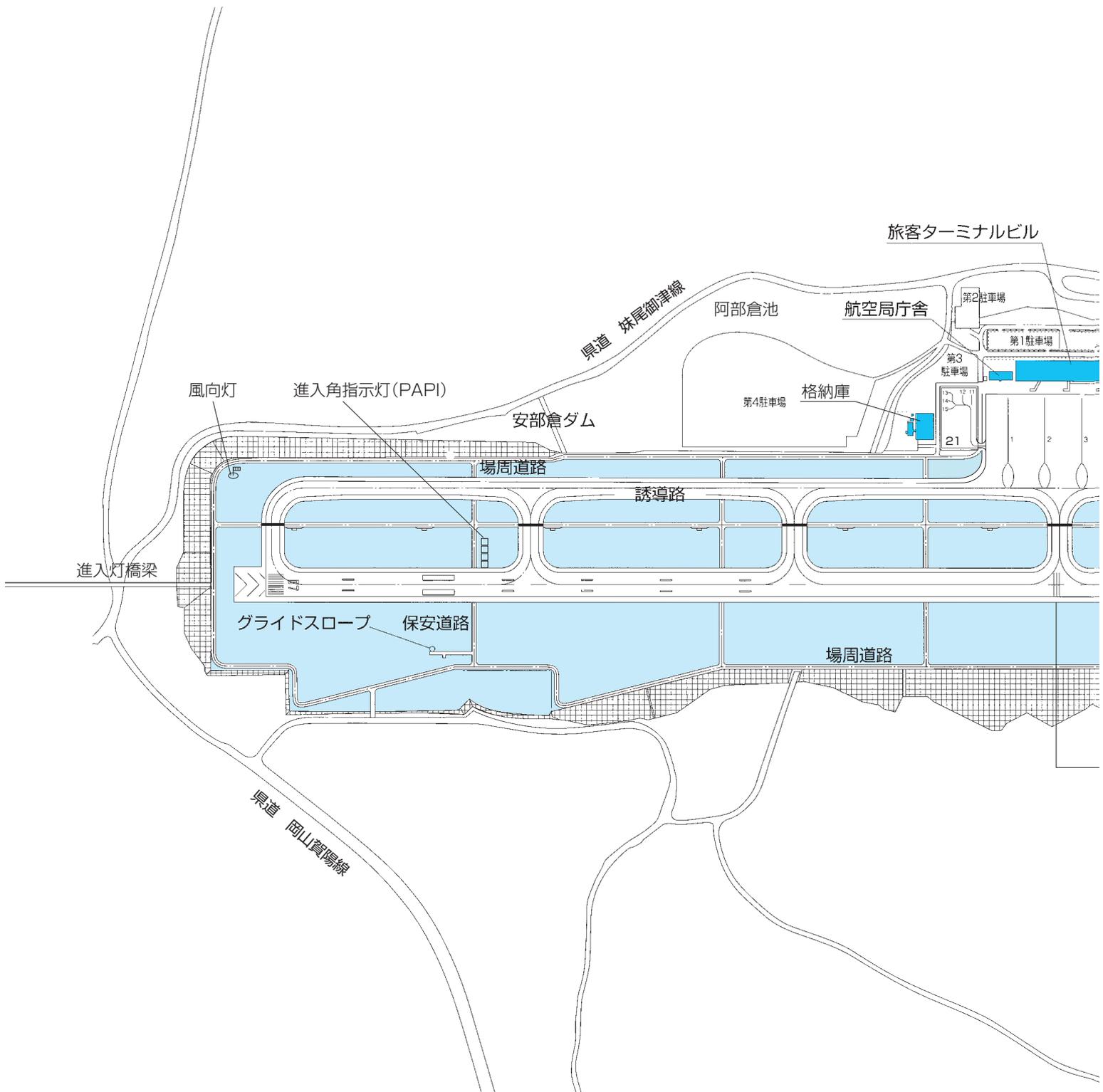
(7) 付帯施設

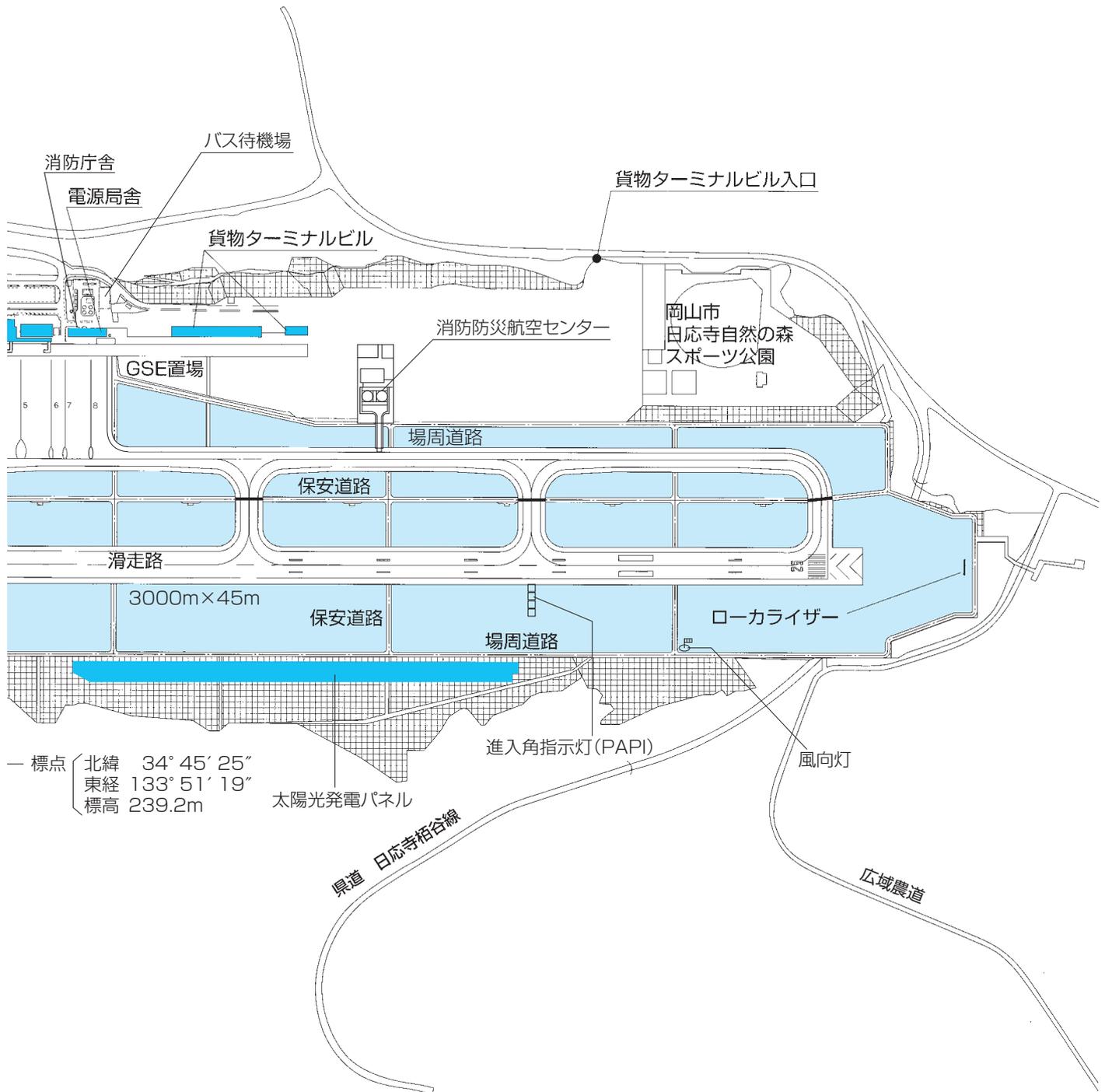
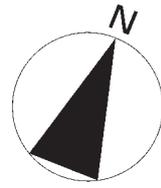
- ①場内道路 11,401m
- ②電源局舎 鉄筋コンクリート平屋建 753.04㎡  
予備発動発電機 300kVA 1台
- ③駐車場 3,181台
  - <有料>293台 (平成23年7月1日~有料化)
    - 第1駐車場293台  
(普通車用273台、ほっとパーキングおかやま専用20台)
  - <無料>2,885台
    - 第2駐車場288台 第3駐車場260台  
第4駐車場2,337台
  - ※観光バス送迎枠19台  
観光バス乗降枠6台
- ④スイーパー車庫 鉄筋コンクリート平屋建 123.5㎡
- ⑤排水施設 場周排水路、U型排水路、皿型排水路等
- ⑥調整池 5か所
- ⑦場周柵 約8km



※令和7年5月1日現在

空港施設平面図





※令和7年5月1日現在

## 7. 利用の推移

### (1) 定期路線

路 線		便 数	航 空 会 社	所要時間	主な就航機種(定員)
内 国	東 京 便	1日5往復	全日本空輸 (ANA)	1時間15分	B767 (270) A321 (194)
	東 京 便	1日5往復	日本航空 (JAL)	1時間15分	B737 (165)
	沖 縄 便	1日1往復	日本トランスオーシャン航空 (JTA)	2時間00分	B737 (165)
	札 幌 便	1日1往復	全日本空輸 (ANA)	2時間00分	B737 (166)
際 国	ソウル便	週4往復	大韓航空 (KE)	1時間30分	A321 (180)
	上 海 便	週3往復	中国東方航空 (MU)	2時間30分	A319 (120)
	台 北 便	週9往復	タイガーエア台湾 (IT)	2時間40分	A320 (180)
	高 雄 便 (連続チャーター便)	週3往復	タイガーエア台湾 (IT)	3時間00分	A320 (180)

※令和7年5月1日現在。

### (2) 使用形態別着陸回数

年 度	合 計	民 間 機					震災関連	その他 国有機等
		定 期 便	臨 時 便	チャーター	ダイバート	そ の 他		
昭62	376	85	0	12	0	274		5
63	8,252	1,692	39	47	13	6,283		178
平 元	6,014	1,819	2	78	26	3,976		113
2	5,247	2,156	15	106	13	2,885		72
3	5,349	2,543	18	96	23	2,593		76
4	4,562	2,584	34	97	17	1,757		73
5	4,324	2,586	19	149	18	1,469		83
6	4,907	2,992	47	112	18	832	834	72
7	4,286	3,303	55	125	14	628	66	95
8	4,655	3,948	21	135	9	484		58
9	5,345	4,433	54	122	11	671		54
10	4,736	4,099	43	70	9	461		54
11	4,478	3,920	47	54	7	402		48
12	4,723	4,204	61	42	8	360		48
13	4,994	4,390	39	82	3	433		47
14	6,140	5,583	33	97	5	382		40
15	6,629	6,167	29	15	10	385		23
16	6,802	6,252	31	69	4	428		18
17	6,142	5,710	25	44	7	345		11
18	5,921	5,547	38	48	3	277		8
19	6,072	5,624	12	87	0	331		18
20	6,176	5,685	48	52	1	376		14
21	5,850	5,509	8	33	3	287		10
22	5,592	5,244	5	44	3	293		3
23	5,302	4,896	20	50	6	320		10
24	5,452	4,966	50	66	3	345		22
25	5,722	5,298	55	44	5	287		33
26	5,382	5,141	2	64	2	173		22
27	5,854	5,489	20	56	3	262		24
28	5,805	5,263	28	38	2	290		184
29	6,108	5,380	54	64	2	422		186
30	6,150	5,525	30	51	1	280		263
令 元	5,977	5,356	18	46	1	332		224
2	2,407	1,849	6	14	0	296		242
3	3,293	2,563	3	16	1	508		202
4	4,588	4,072	0	34	2	356	0	124
5	5,528	4,833	12	17	1	395	0	270
6	5,771	5,088	32	92	0	281	0	278

(3) 利用者数及び搭乗率

岡山桃太郎空港旅客便利用実績

【国内線】・定期路線

(令和7年3月確定値)

年度	東京線(合計)		東京線(ANA)		東京線(JAL)		札幌線(ANA/ADO)		沖縄線(JTA)		国内定期路線計	
	利用者数(人)	搭乗率(%)	利用者数(人)	搭乗率(%)	利用者数(人)	搭乗率(%)	利用者数(人)	搭乗率(%)	利用者数(人)	搭乗率(%)	利用者数(人)	搭乗率(%)
昭62	8,666	82.0	8,666	82.0	-	-	-	-	4,052	74.2	14,947	80.5
63	219,300	65.5	219,300	65.5	-	-	-	-	70,486	69.3	321,953	67.0
平元	304,386	65.5	304,386	65.5	-	-	-	-	68,299	71.6	405,721	67.2
2	359,104	64.4	359,104	64.4	-	-	15,236	81.4	80,902	72.3	487,397	66.6
3	382,763	68.9	382,763	68.9	-	-	58,760	82.7	76,612	70.5	551,081	70.8
4	370,778	59.2	370,778	59.2	-	-	64,178	69.8	70,976	72.3	553,114	61.7
5	313,836	50.2	313,836	50.2	-	-	67,985	70.2	68,010	68.0	501,353	53.5
6	471,181	64.8	471,181	64.8	-	-	72,460	74.6	67,876	61.7	696,394	64.8
7	394,054	60.4	394,054	60.4	-	-	71,728	72.7	95,074	71.6	640,156	63.7
8	366,971	56.1	366,971	56.1	-	-	69,863	71.2	83,938	67.1	613,252	58.7
9	364,145	59.0	364,145	59.0	-	-	105,690	62.0	80,104	73.9	659,242	60.3
10	390,753	56.2	390,753	56.2	-	-	112,414	57.4	75,720	65.1	672,600	57.8
11	438,027	67.7	438,027	67.7	-	-	99,794	59.1	81,463	71.3	714,678	66.3
12	517,163	69.6	517,163	69.6	-	-	95,661	56.0	78,815	76.1	776,157	66.7
13	612,365	70.9	612,365	70.9	-	-	107,020	62.7	77,095	66.3	882,251	68.1
14	997,756	68.5	791,595	68.5	206,161	68.7	136,793	71.0	88,067	75.2	1,297,265	68.6
15	1,148,900	65.1	832,775	64.9	316,125	65.7	141,145	71.4	90,476	76.9	1,463,120	65.7
16	1,097,033	72.6	774,259	74.0	322,774	69.3	141,214	68.0	91,768	79.5	1,411,646	71.5
17	1,110,329	69.6	750,949	73.4	359,380	62.7	141,302	68.2	94,932	82.8	1,391,198	70.0
18	1,131,160	72.7	759,338	78.5	371,822	63.3	135,209	66.5	93,648	81.9	1,389,866	72.2
19	1,037,080	76.2	702,657	78.5	334,423	71.8	126,408	61.8	100,824	78.6	1,292,865	74.1
20	991,632	69.2	665,210	69.7	326,422	68.1	121,817	61.5	90,825	74.2	1,231,147	68.2
21	927,548	68.4	643,223	71.4	284,325	62.3	59,140	71.0	82,914	68.2	1,093,938	67.8
22	907,693	64.2	621,478	65.2	286,215	62.2	69,421	70.4	86,773	72.2	1,077,783	64.8
23	904,448	63.1	613,990	66.6	290,458	56.9	44,903	72.5	94,175	78.7	1,043,526	64.6
24	968,487	61.5	610,456	62.3	358,031	60.2	54,273	52.5	94,300	81.9	1,117,060	62.3
25	1,018,020	60.2	636,919	58.1	381,101	64.0	70,878	72.1	103,726	70.6	1,192,624	61.6
26	1,040,466	56.4	639,225	56.5	401,241	56.2	70,132	68.3	86,469	82.6	1,197,067	58.3
27	1,072,052	59.3	664,060	58.0	407,992	61.4	73,593	70.7	89,554	84.6	1,235,199	61.2
28	1,066,159	71.5	650,600	72.8	415,559	69.5	70,609	69.1	87,301	82.9	1,224,069	72.0
29	1,085,448	72.8	656,155	73.4	429,293	71.8	75,130	72.1	94,169	81.7	1,254,747	73.3
30	1,103,308	75.1	648,025	74.3	455,283	76.2	77,790	65.1	91,986	79.2	1,273,084	74.7
令元	1,058,911	75.4	603,784	73.9	455,127	77.5	85,448	70.7	99,320	79.4	1,243,679	75.4
2	244,071	47.0	126,600	50.4	117,471	43.9	1,272	39.6	20,428	25.6	265,771	44.1
3	363,425	46.6	195,162	47.2	168,263	45.9	1,904	35.5	26,885	33.8	392,214	45.4
4	773,242	59.3	423,527	58.8	349,715	59.9	15,609	41.6	85,426	73.3	874,277	60.0
5	957,039	69.9	522,885	67.4	434,154	73.0	81,461	59.3	106,115	87.1	1,144,615	70.3
6	936,791	75.4	487,454	75.0	449,337	75.8	87,392	72.0	109,173	88.2	1,133,356	76.2

・チャーター便

年度	便数(便)	利用者数(人)	搭乗率(%)
昭62	-	-	-
63	4	140	-
平元	1	103	-
2	-	-	-
3	2	67	-
4	2	70	-
5	-	-	-
6	1	363	-
7	1	90	-
8	2	46	-
9	3	183	-
10	21	1,109	-
11	-	-	-
12	-	-	-
13	-	-	-
14	28	1,879	-
15	4	434	-
16	19	1,335	-
17	4	454	-
18	2	298	-
19	10	1,021	68.1
20	-	-	-
21	2	298	99.3
22	2	273	91.0
23	10	755	71.0
24	4	528	80.0
25	6	768	80.8
26	17	1,242	82.7
27	36	2,086	75.4
28	35	2,337	82.9
29	47	2,909	69.4
30	61	3,209	62.6
令元	54	3,066	65.3
2	20	1,003	59.7
3	27	1,044	43.7
4	68	3,244	56.1
5	31	2,133	75.9
6	41	2,450	64.3

・国内線 合計

年度	利用者数(人)	搭乗率(%)
昭62	14,947	-
63	322,093	-
平元	405,824	-
2	487,397	-
3	551,148	-
4	553,184	-
5	501,353	-
6	696,757	-
7	640,246	-
8	613,298	-
9	659,425	-
10	673,709	-
11	714,678	-
12	776,157	-
13	882,251	-
14	1,299,144	-
15	1,463,554	-
16	1,412,981	-
17	1,391,652	-
18	1,390,164	-
19	1,293,886	74.1
20	1,231,147	68.2
21	1,094,236	67.8
22	1,078,056	64.8
23	1,044,281	64.6
24	1,117,588	62.3
25	1,193,392	61.6
26	1,198,309	58.3
27	1,237,285	61.2
28	1,226,406	72.0
29	1,257,656	73.3
30	1,276,293	74.6
令元	1,246,745	75.4
2	266,774	44.2
3	393,258	45.4
4	877,521	60.0
5	1,146,748	70.3
6	1,135,806	76.2

【国際線】・定期路線

年度	ソウル線 (KE)		上海線 (MU)		香港線 (HX)		台北線 (IT)		国際定期路線計	
	利用者数 (人)	搭乗率 (%)	利用者数 (人)	搭乗率 (%)	利用者数 (人)	搭乗率 (%)	利用者数 (人)	搭乗率 (%)	利用者数 (人)	搭乗率 (%)
昭62	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
63	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平元	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	39,925	67.9	-	-	-	-	-	-	39,925	67.9
4	43,929	59.7	-	-	-	-	-	-	43,929	59.7
5	49,958	68.4	-	-	-	-	-	-	49,958	68.4
6	60,920	74.1	-	-	-	-	-	-	60,920	74.1
7	60,054	75.7	-	-	-	-	-	-	60,054	75.7
8	51,455	68.6	-	-	-	-	-	-	51,455	68.6
9	61,543	67.8	-	-	-	-	-	-	61,543	67.8
10	85,280	73.7	12,221	45.7	-	-	-	-	114,837	68.8
11	106,388	77.9	20,925	62.7	-	-	-	-	153,375	75.7
12	110,044	79.2	23,008	75.8	-	-	-	-	162,818	77.8
13	97,870	68.2	22,908	77.1	-	-	-	-	145,283	67.9
14	91,930	61.3	36,127	80.2	-	-	-	-	144,900	63.9
15	57,850	65.1	25,837	54.2	-	-	-	-	100,924	60.0
16	77,898	73.4	68,372	63.4	-	-	-	-	167,737	68.2
17	94,733	71.5	61,201	57.5	-	-	-	-	173,762	64.1
18	108,522	63.3	75,364	68.8	-	-	-	-	201,939	64.5
19	108,489	60.1	62,576	61.7	-	-	-	-	199,619	59.9
20	109,650	79.3	45,886	51.4	-	-	-	-	191,200	62.6
21	126,220	61.0	56,007	52.0	-	-	-	-	217,701	56.6
22	111,000	82.3	69,839	63.6	-	-	-	-	219,005	70.0
23	113,931	79.9	72,135	75.2	-	-	-	-	212,209	75.2
24	112,011	82.7	68,790	54.5	-	-	-	-	194,506	67.9
25	87,598	70.3	51,874	50.8	-	-	-	-	176,448	63.0
26	86,815	64.9	44,710	52.3	-	-	-	-	157,476	60.9
27	85,291	72.2	51,329	58.2	806	57.9	-	-	143,787	66.6
28	85,001	70.7	53,909	64.0	40,349	65.7	31,952	80.0	211,211	69.1
29	102,007	70.0	56,432	66.5	29,662	82.2	69,933	83.4	258,034	73.6
30	100,799	72.6	66,738	73.7	32,783	76.0	104,249	80.7	304,569	75.8
令元	70,021	64.8	57,015	70.6	30,861	71.0	98,118	78.5	256,015	71.7
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	695	64.4	695	64.4
5	16,764	72.9	14,522	60.1	0	0.0	107,829	87.6	139,115	81.7
6	49,622	72.4	38,889	68.1	0	0.0	131,671	89.3	220,182	80.6

・連続チャーター便

年度	高雄線 (IT)	
	利用者数 (人)	搭乗率 (%)
昭62	-	-
63	-	-
平元	-	-
2	-	-
3	-	-
4	-	-
5	-	-
6	-	-
7	-	-
8	-	-
9	-	-
10	-	-
11	-	-
12	-	-
13	-	-
14	-	-
15	-	-
16	-	-
17	-	-
18	-	-
19	-	-
20	-	-
21	-	-
22	-	-
23	-	-
24	-	-
25	-	-
26	-	-
27	-	-
28	-	-
29	-	-
30	-	-
令元	-	-
2	-	-
3	-	-
4	-	-
5	-	-
6	22,206	92.8

・チャーター便

年度	便数 (便)	利用者数 (人)	搭乗率 (%)
63	59	7,381	-
平元	117	11,762	-
2	116	15,168	-
3	111	14,924	-
4	107	16,336	-
5	160	24,870	-
6	116	18,788	-
7	154	20,603	-
8	149	20,080	-
9	154	17,252	-
10	51	6,310	-
11	49	8,091	-
12	43	8,285	-
13	92	16,676	-
14	74	11,326	-
15	10	1,529	-
16	61	9,980	-
17	46	8,671	-
18	59	10,686	-
19	118	17,739	76.2
20	84	11,558	78.1
21	55	8,737	90.2
22	85	12,645	86.1
23	91	13,723	84.4
24	124	21,226	87.3
25	38	5,684	81.5
26	47	6,024	82.1
27	46	7,241	86.3
28	13	2,083	91.4
29	52	6,095	73.9
30	16	2,192	93.4
令元	8	1,032	82.4
2	0	0	0.0
3	0	0	0.0
4	0	0	0.0
5	4	542	98.2
6	6	928	93.2

・国際線 合計

年度	利用者数 (人)	搭乗率 (%)
63	7,381	-
平元	11,762	-
2	15,168	-
3	54,849	-
4	60,265	-
5	74,828	-
6	79,708	-
7	80,657	-
8	71,535	-
9	78,795	-
10	121,147	-
11	161,466	-
12	171,103	-
13	161,959	-
14	156,226	-
15	102,453	-
16	177,717	-
17	182,433	-
18	212,625	-
19	217,358	61.0
20	202,758	63.3
21	226,438	57.4
22	231,650	70.7
23	225,932	75.7
24	215,732	69.4
25	182,132	63.4
26	163,500	61.5
27	151,028	67.4
28	213,294	69.2
29	264,129	73.6
30	306,761	75.9
令元	257,047	71.7
2	0	0.0
3	0	0.0
4	695	64.4
5	139,657	81.8
6	243,316	81.6

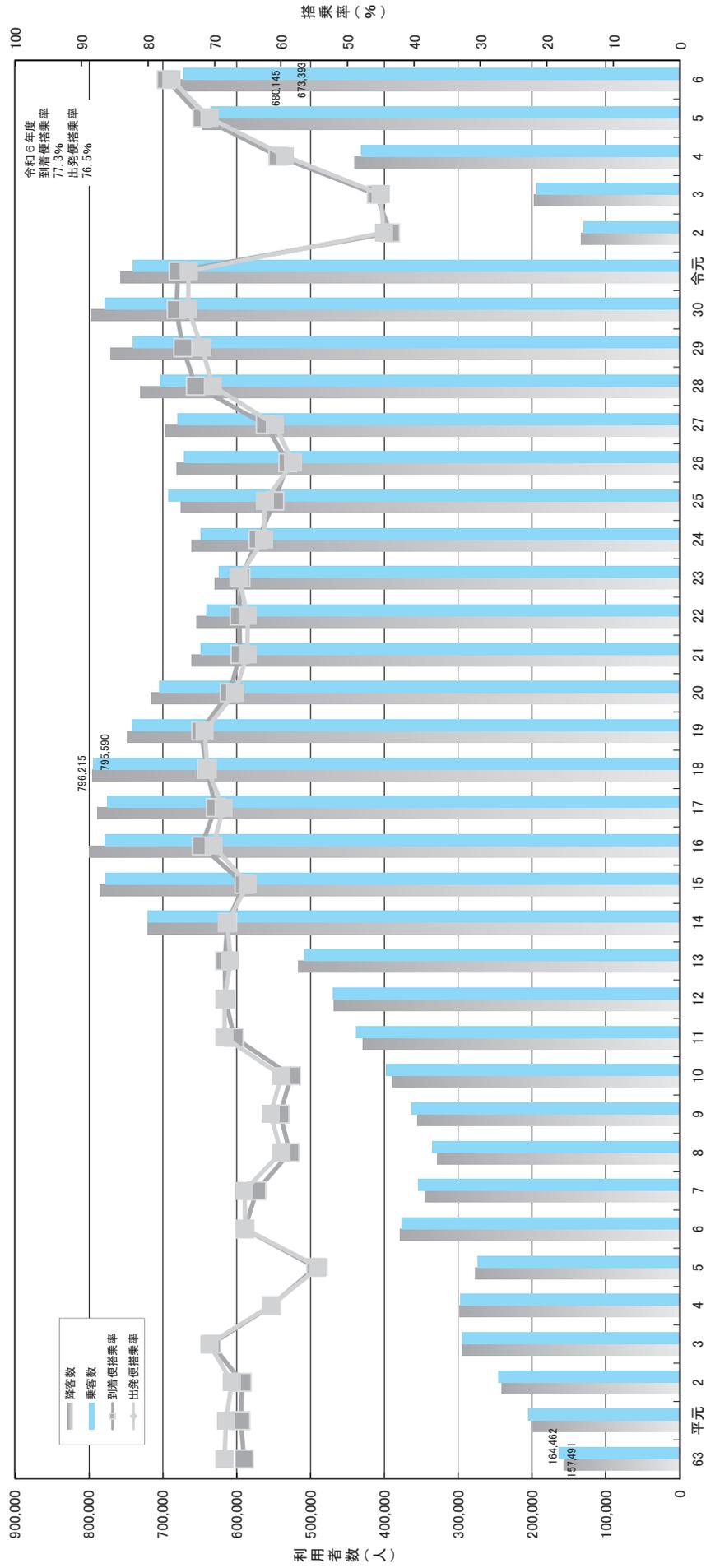
【総合計】

年度	利用者数 (人)	搭乗率 (%)
63	329,474	-
平元	417,586	-
2	502,565	-
3	605,997	-
4	613,449	-
5	576,181	-
6	776,465	-
7	720,903	-
8	684,833	-
9	738,220	-
10	794,856	-
11	876,144	-
12	947,260	-
13	1,044,210	-
14	1,455,370	-
15	1,566,007	-
16	1,590,698	-
17	1,574,085	-
18	1,602,789	-
19	1,511,244	71.9
20	1,433,905	67.4
21	1,320,674	65.8
22	1,309,706	65.8
23	1,270,213	66.4
24	1,333,320	63.3
25	1,375,524	61.8
26	1,361,809	58.7
27	1,388,313	61.8
28	1,439,700	71.6
29	1,521,785	73.4
30	1,583,054	74.9
令元	1,503,792	74.7
2	266,774	44.2
3	393,258	45.4
4	878,216	60.0
5	1,286,405	71.4
6	1,379,122	77.1

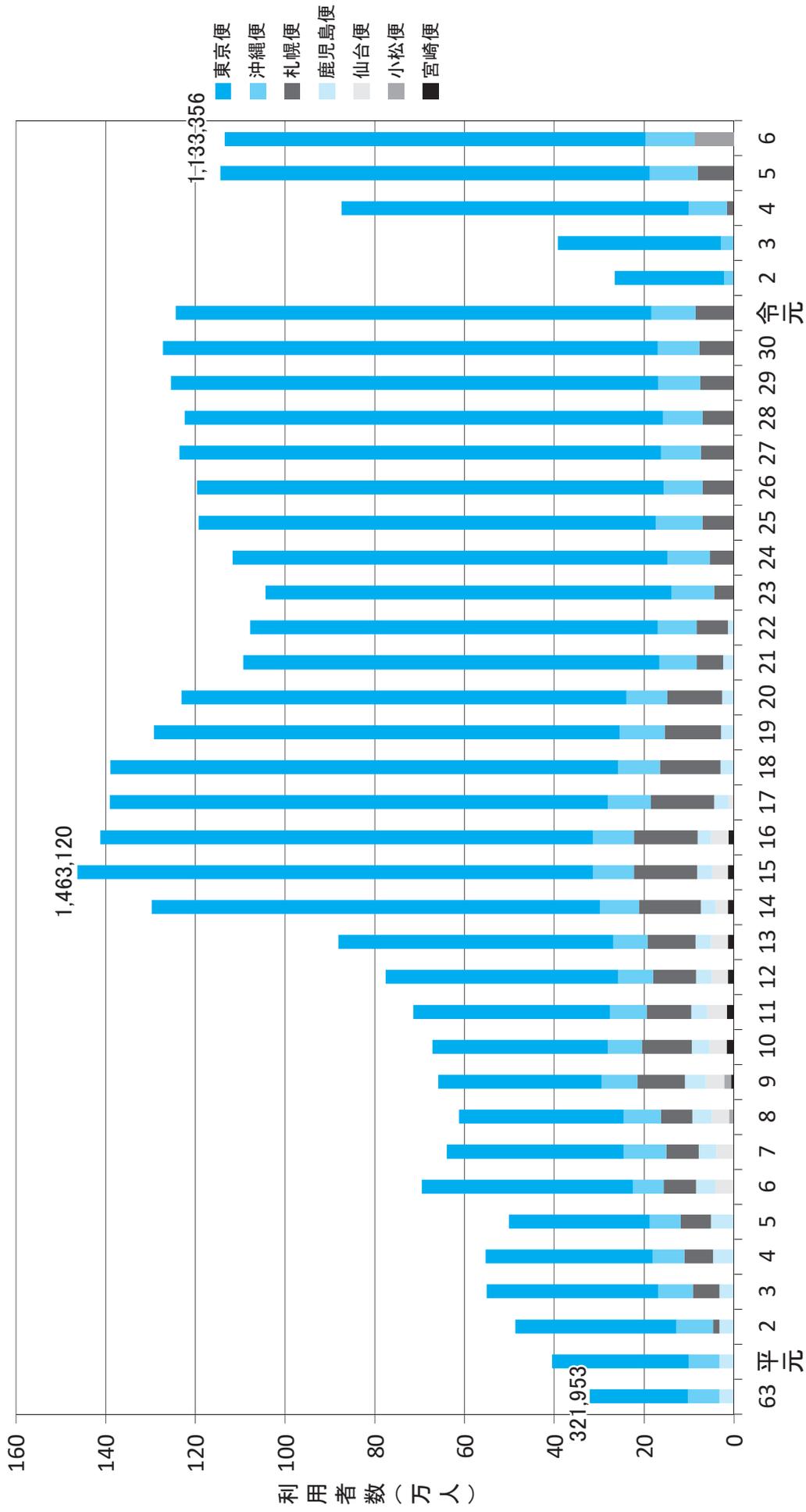
開港以来の国内線及び国際線の累計利用者数 39,990,706

※令和6年度の定期便利用者数は1,353,538人、搭乗率は76.9%となっており、路線別・年度別の利用実績は、以下（P14～P22）のとおりである。

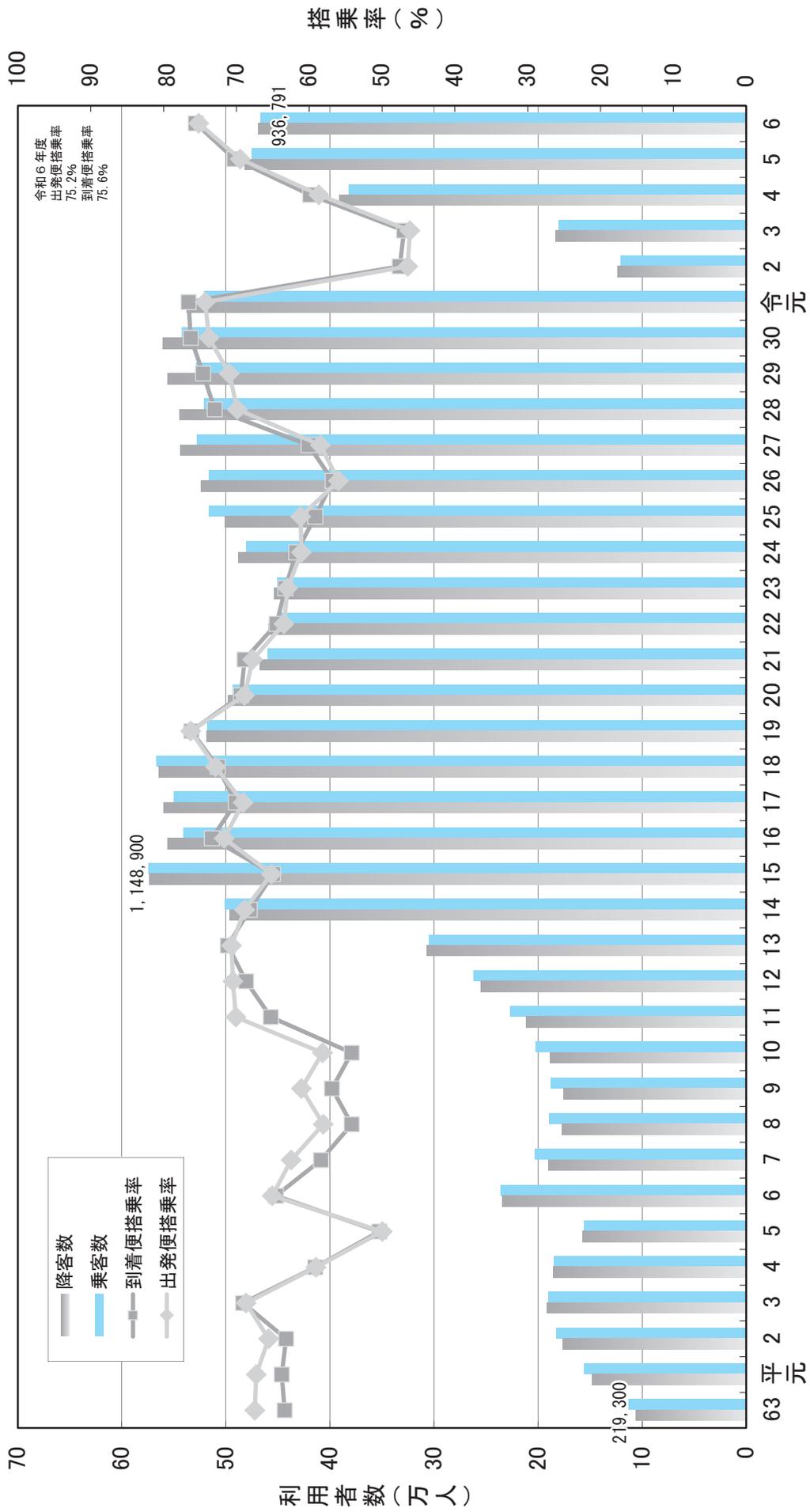
### 定期便利用者数合計



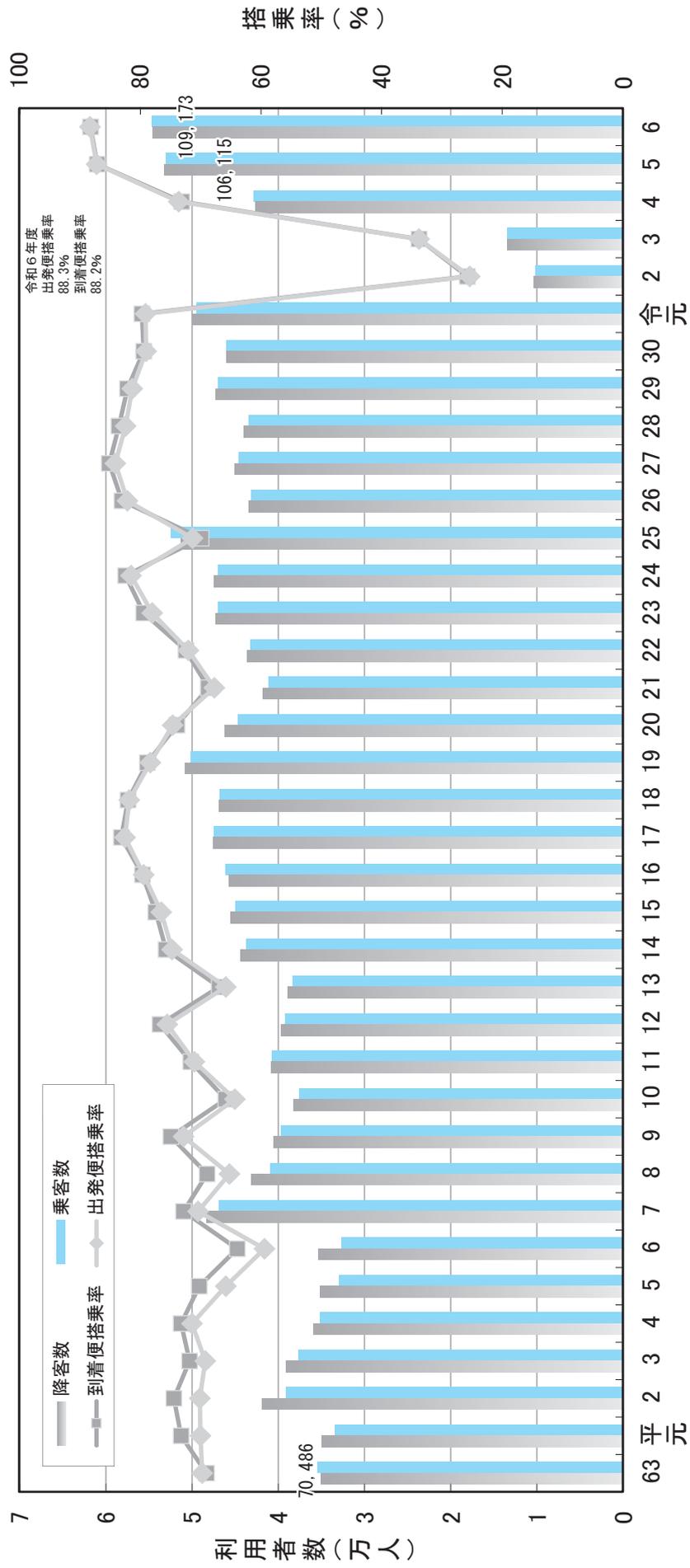
# 国内路線別利用者数計

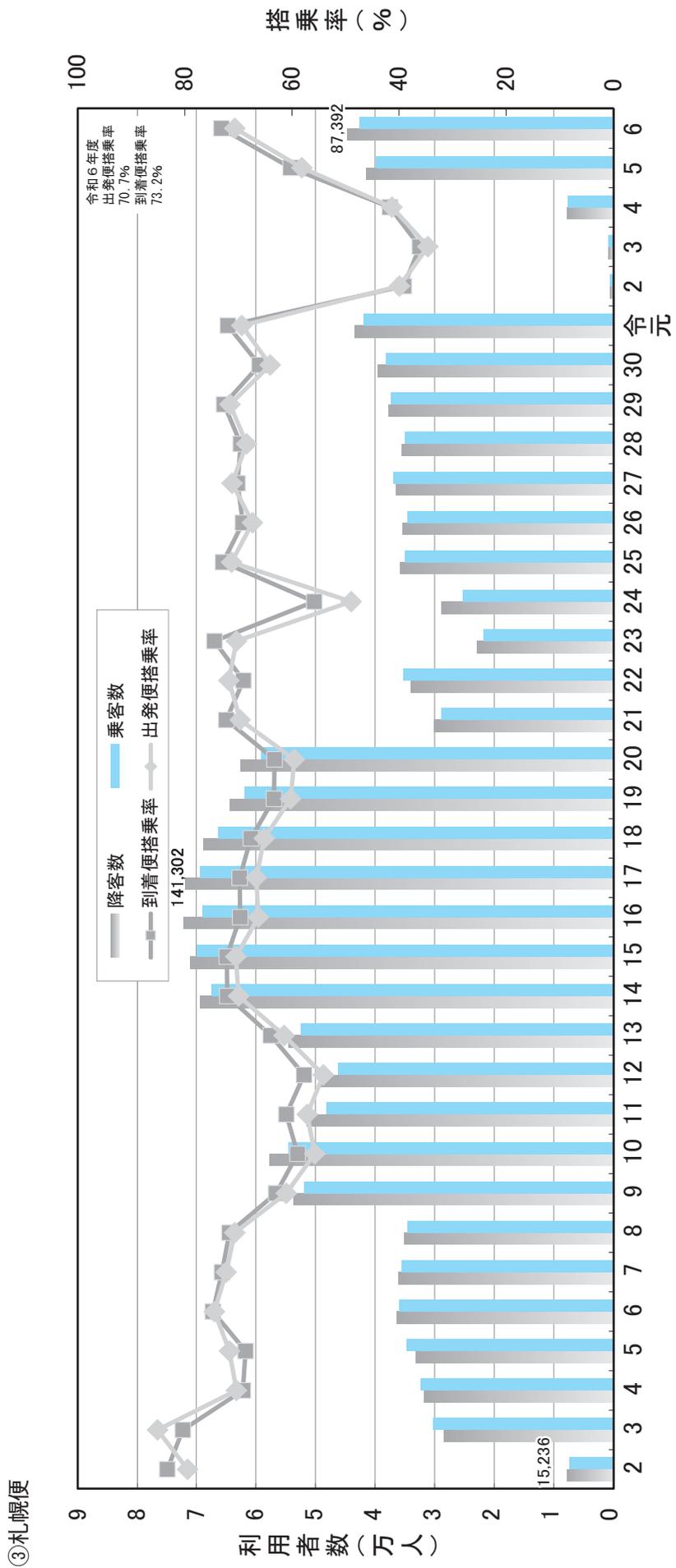


①東京便

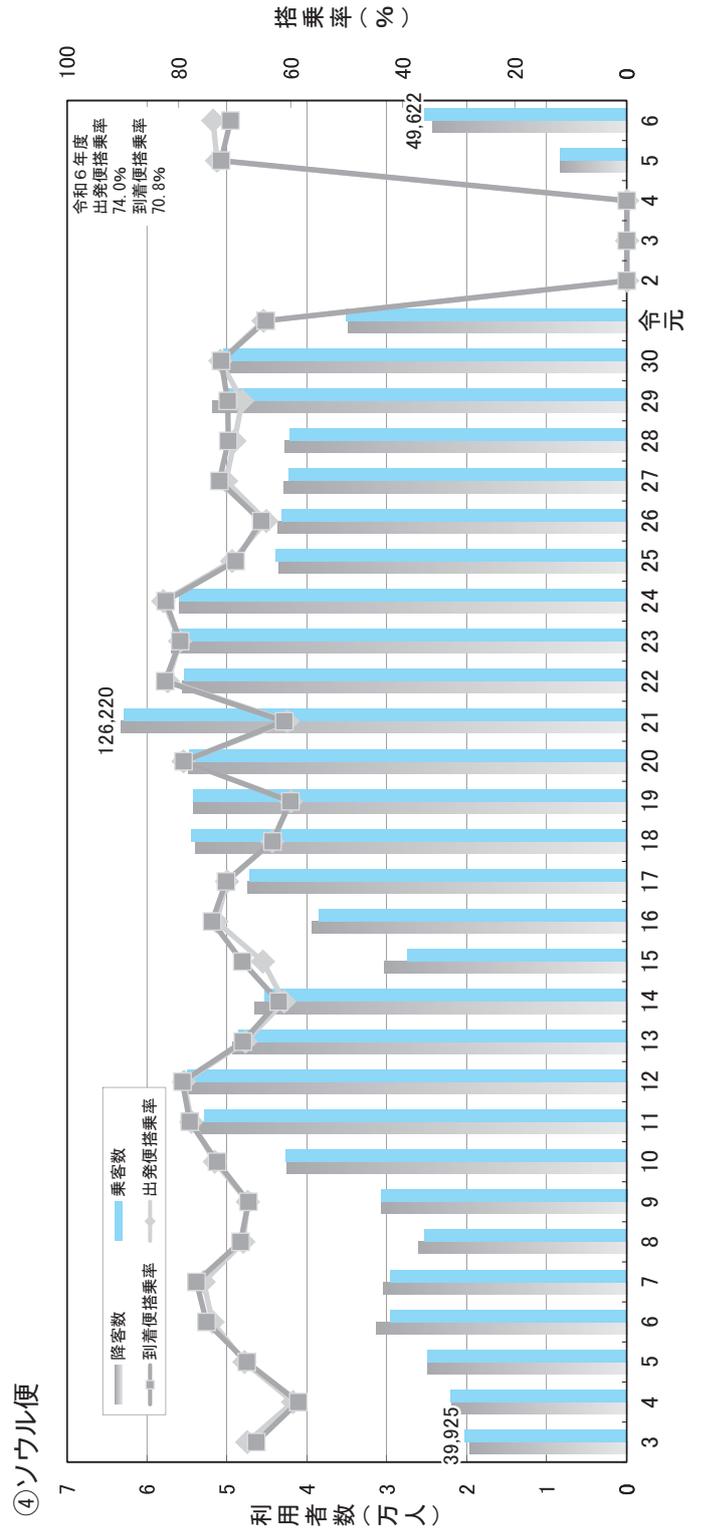
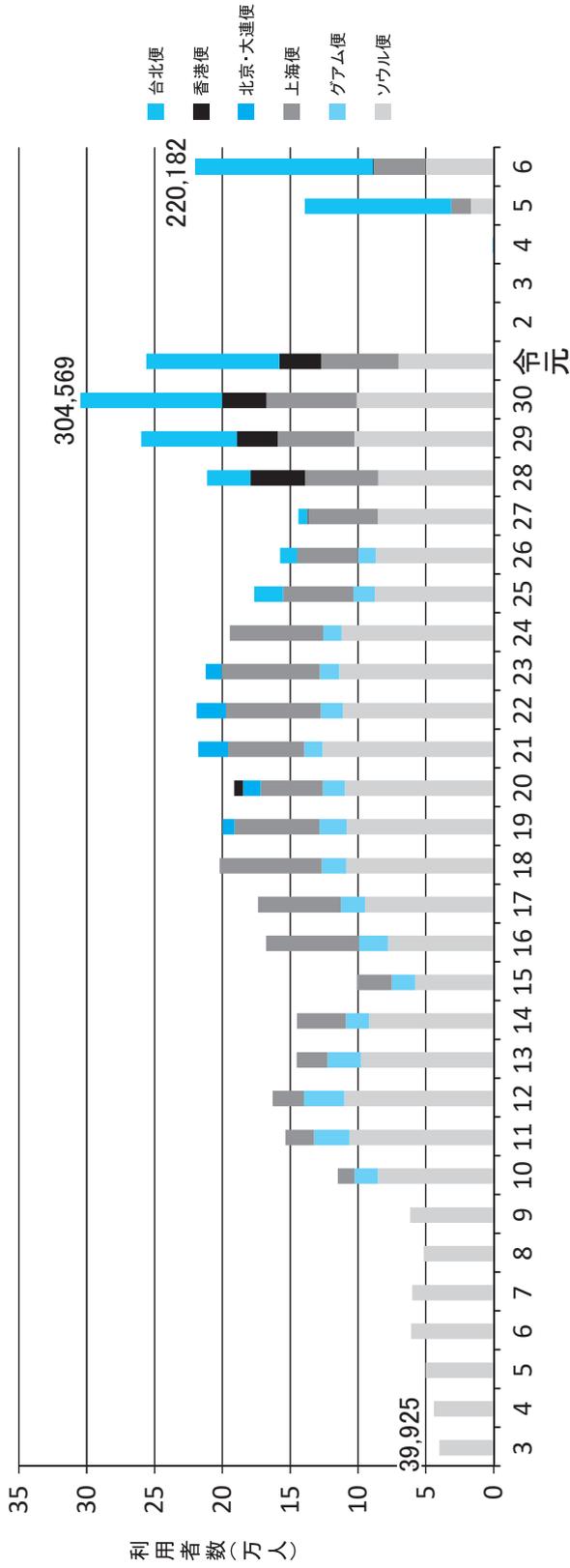


②沖繩便

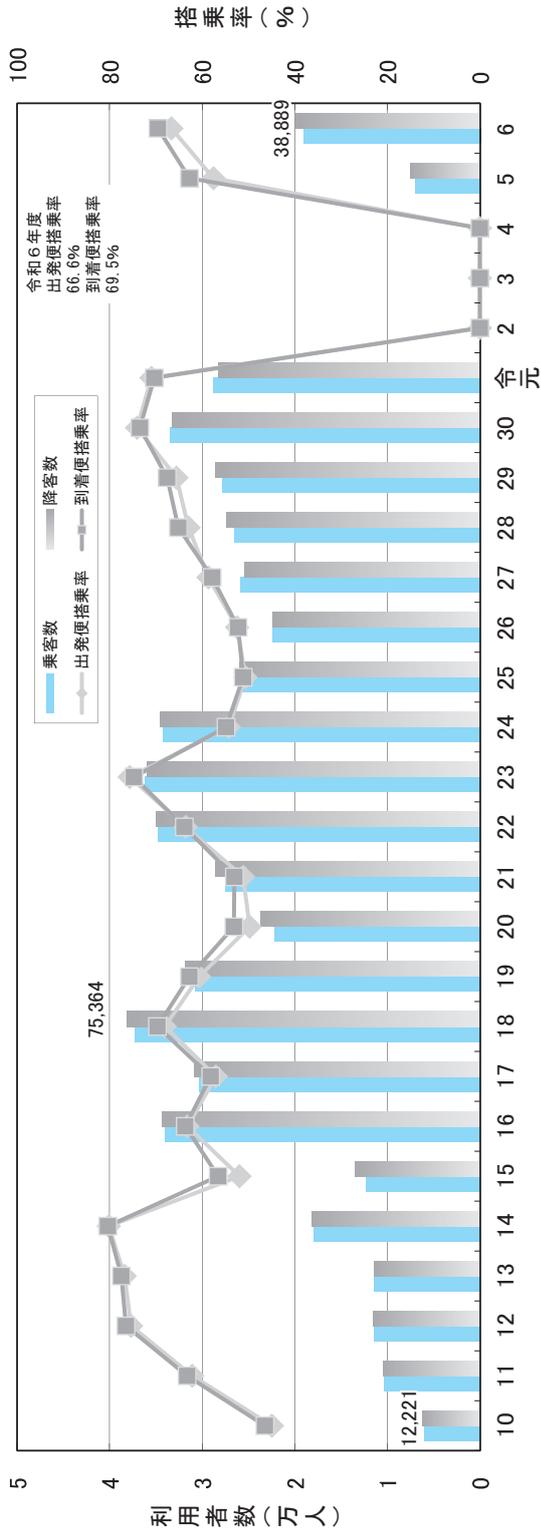




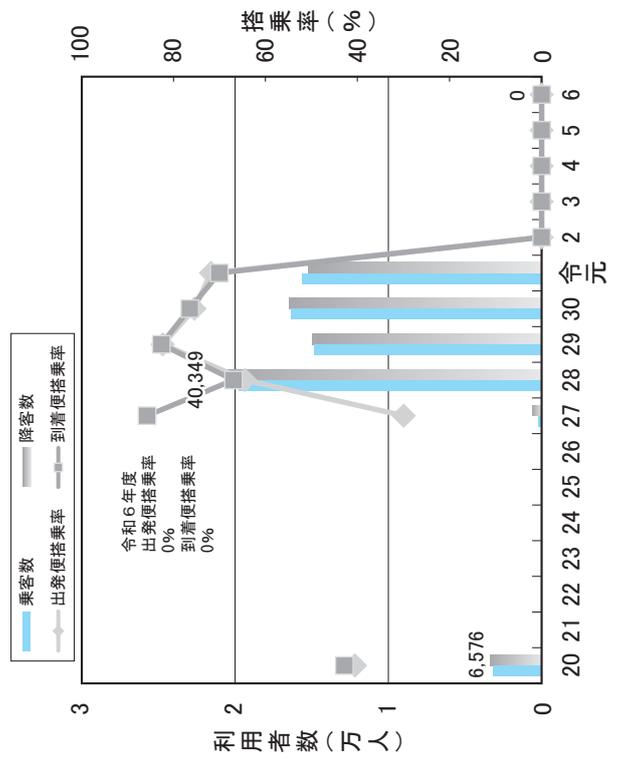
# 国際路線別利用者数計



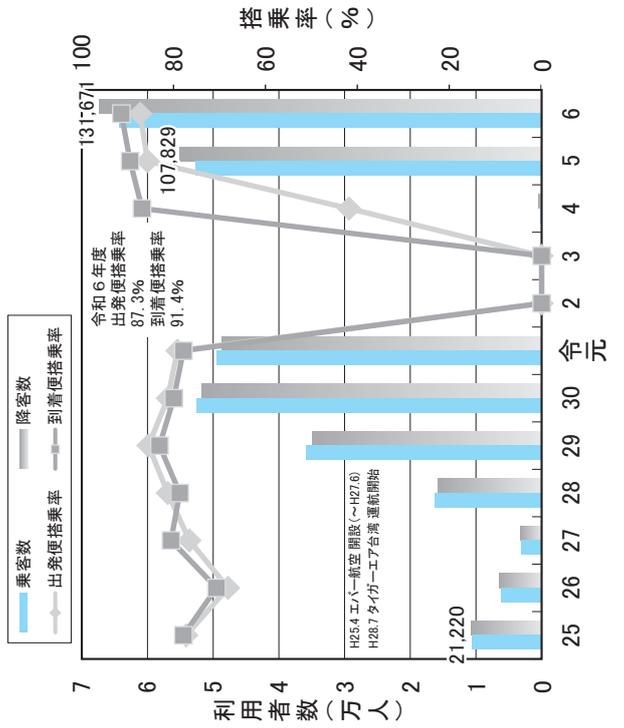
⑤上海便



⑥香港便

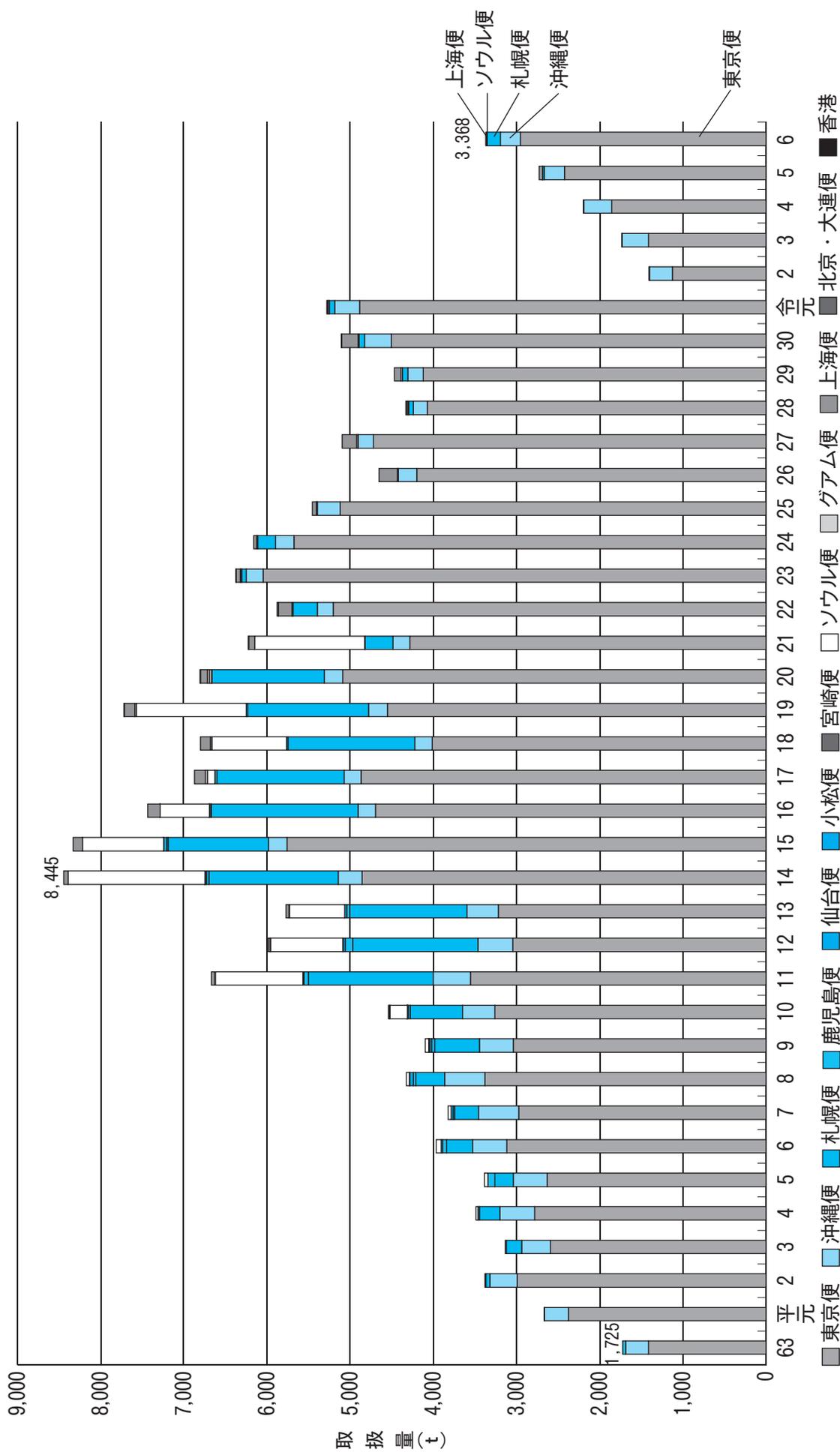


⑦台北便





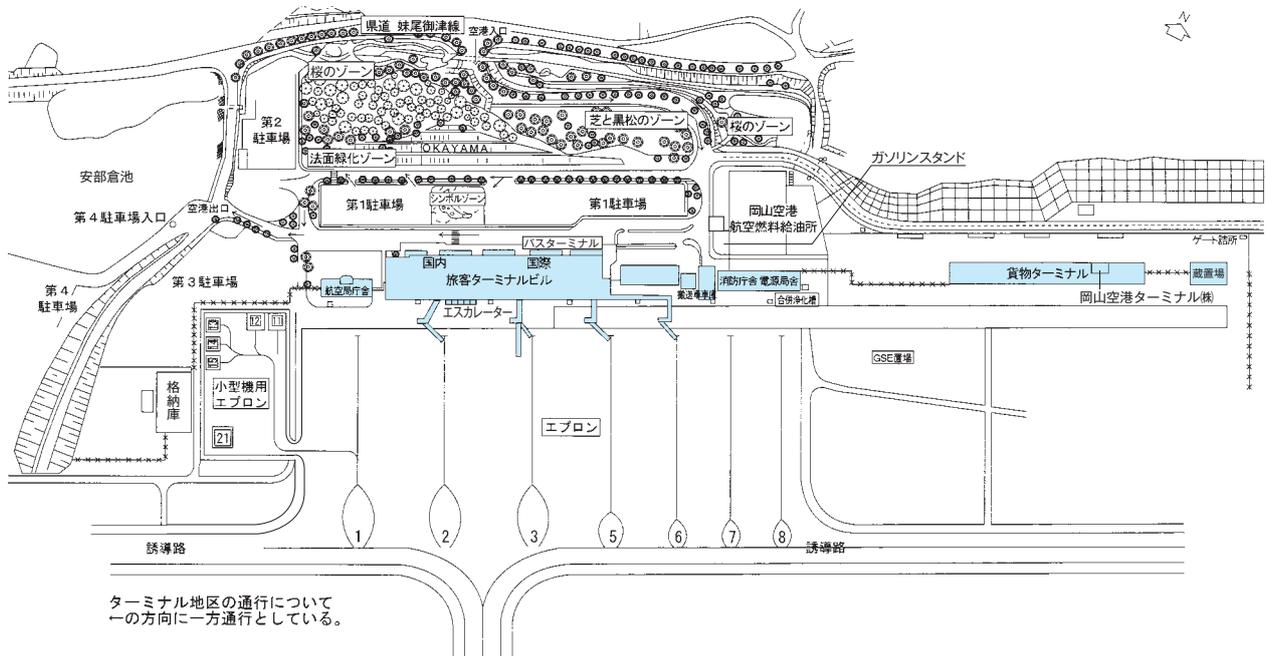
(5) 定期路線別貨物取扱状況





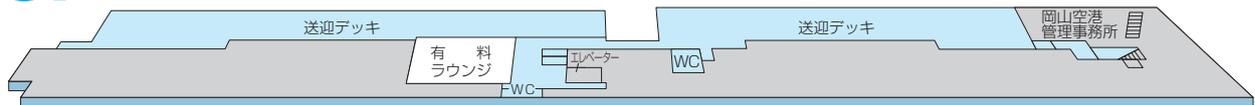


## ターミナル地区平面図

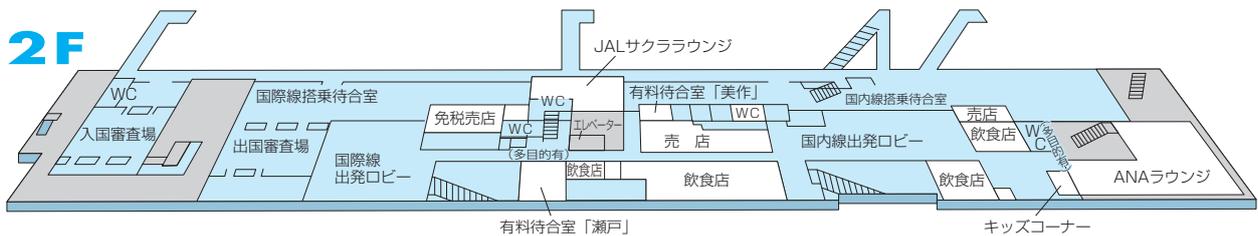


## 旅客ターミナルビル案内図

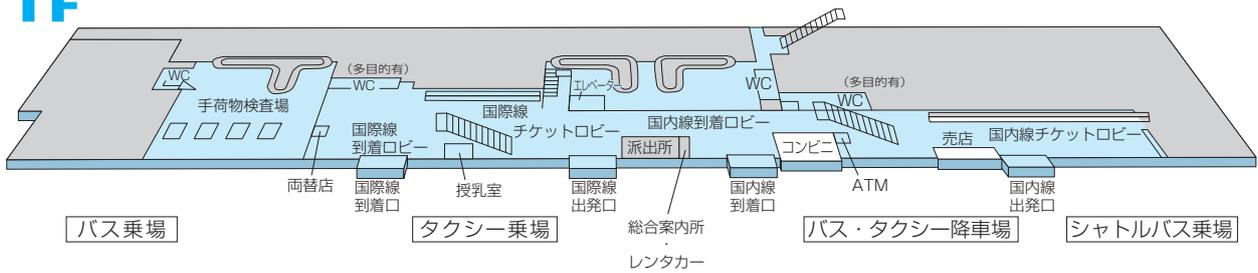
3F



2F



1F



※岡山空港ターミナル株式会社は、貨物ターミナル内

定期便運航図



各社の代表的な運航機種



A321 (194人)

全日本空輸(株)



B737-800 (166人)

全日本空輸(株)



B737-800 (165人)

日本航空(株)



B737-800 (165人)

日本トランスオーシャン航空(株)



A321 (180人)

(株)大韓航空



A319 (120人)

中国東方航空公司



A320 (180人)

タイガーエア台湾



## 岡山県岡山空港管理事務所

〒701-1131 岡山市北区日応寺1277  
 TEL (086) 294 - 5550  
 FAX (086) 294 - 4178  
 HPアドレス : <https://www.pref.okayama.jp/soshiki/183/>